

紅葉の美しい季節です。10月から11月にかけて様々な学校行事やPTA行事などがありました。それぞれの行事を通してまた1歩成長した南っ子たちは、充実の秋を過ごしています。

親子ふれあい体験講座レクスポ in 小牧南

10月29日(日)スポーツ振興会やパパクラブの皆さんの協力を得て、PTA主催による「親子ふれあい体験講座レクスポ in 小牧南」が開催されました。それぞれの講座の体験を通して、親子のふれあいを一層深めることができました。



キンボール

デコパージュで、ゆきだるまとてんしのえのついたかべかけをつくりました。えをきってはったり、ペンキをぬったりしておもしろかったです。(1年 K・K)

ぼくは、いせかたがみをやりました。いのししが、たこをもっているところをカッターナイフで切りました。2まいかさねてきるのがむずかしかったです。さくひんはかざってあります。(1年 T・T)

トールペイントは、おもしろくておもったよりじょうずにできました。みんなにほめられてうれしかったです。(1年 O・M)

ぼくは、ドッジビーをしました。そのやり方は、ドッジボールのたまがフリスビーになっただけでした。ぼくは、すぐはまって、もうやめれませんでした。もうたのしくてたのしくてしにそうでした。またやりたいです。(1年 H・M)



グランドゴルフ

楽しかったドッジビー 3年 T・H

ぼくは、お父さんとドッジビーをしました。ドッジビーのルールはドッジボールのボールのかわりにフリスビーを使うのです。

はじめに、友だちとフリスビーの投げ方・とり方の練習をしました。それからし合をはじめました。と中でフリスビーが2こ、3ことふえていったので、はさみうちにされてあせりました。ぼくは、内野にもどりたかったので一生けんめい投げましたが、

当てられませんでした。でも、がんばって投げました。

あせだくになったので、お父さんと弟と飲んだジュースがおいしかったです。

マジックのすばらしさ

5年 S・K

僕は、マジック講座に参加しました。そこでは渡辺先生が教えてくれました。何もない紙からお金が出てくるマジックや、結べないハンカチのマジックなどを教えてもらいました。すごくおもしろくて、おどろきの連続でした。

また、中米の方で、病気などで遊べない子どもたちにマジックを見せて楽しませているという話を聞き、とてもすばらしいと思いました。僕も、これからマジックをたくさん覚えてみんなを楽しませていきたいと思いました。

さまざまなふれあいを求めて

PTA母親代表 S・H

「親子ふれあい体験講座レクスポ in 小牧南」には総勢386名という多数のご協力・ご参加をいただきありがとうございました。

当日は、晴天に恵まれ、この時期としては暑さを感じる中で、汗をかき歓声を上げながら「ニュースポーツ」に夢中になる人、身を乗り出し目を輝かせて机を囲む「サイエンス」、出来上がって持ち帰る姿に満足度200%を思わせる「デコパージュ」、かわいい作品の完成にさらにもう1個挑戦する「ビーズ」、講師の先生にほめられどこに飾ろうか思いをはせながらの「トールペイント」、小さい子ども刃物を使い細かい絵柄に真剣に取り組む「伊勢型紙」、うまくできないと嘆きながらも何度も挑戦する「和菓子作り」、自分が人に見せる姿を想像しているのが満面の笑みを浮かべてタネを作る「マジック」と、どの講座も生き生きとして活気に満ちあふれていました。



創作和菓子講座



サイエンス講座

南小PTAは「ふれあい」をテーマに活動しています。今回も「親子ふれあい」というテーマのもと企画してきましたが、いろいろな人々とのふれあいだけでなく、自分が経験したことのないスポーツや文化活動にふれ、「新しい自分」にもふれることができたのではないのでしょうか。

これからも皆さんが満足できるよう活動を進めていきますので、ぜひご参加いただき、いろいろな「ふれあい」を体験していただきたいと思います。

教育相談週間 11月20日(月)～24日(金)

の1週間は、教育相談週間です。いじめや自殺などの問題に揺れ動いている教育界ですが、本校でもいじめは「あってほしくないが、あり得ること」としてとらえ、相談活動の充実などにより、早期発見・早期解決に努めています。

何でも話そう。何でも聞くよ。

教育相談担当 K・M

南小では、「ひとりひとりの児童を全職員で見つめて指導しよう。」を合い言葉に、日々相談活動を進めています。また、6月、11月、2月には相談週間も設けています。

その時には、学校や家で頑張っていること、クラスの友だちのこと、これから頑張りたいこと、またちょっと気になっていることなどがたくさん話し合われます。担任は、この機会に子どもたちの話にゆっくり耳を傾け、共に感じ、共に考えて、寄り添いながら児童理解を深めていきます。このひとときは、我々担任にとって貴重な貴重な時間となります。

児童のみなさん、何でも語り合いましょう。そして、毎日安心して過ごせる思いやりのある楽しい学校をつくっていきましょう。だってあなたたちの大切な学校なのですから。



楽しい学校生活を